

令和3年度協働事業実施に係る
提案の審査について

答 申

令和3年3月23日

水戸市協働推進委員会

目 次

令和3年度協働事業実施に係る提案の審査

審査結果及び全体講評	1
各事業の概要及び委員会意見	2
選考過程・基準	9
委員名簿	10

令和3年度協働事業実施に係る提案の審査

審査結果及び全体講評

【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

推薦する事業

- 介護助手養成 ちいすけ水戸
- LD, HSCの子どもが育つ環境を整える事業
- 親子で楽しむ森あそび 森っこ
- キッズトレイルランニング大会
- 市民参画による道路等パブリック空間の有効活用検討事業
- 公園にハートいっぱい種を蒔こう

推薦しない事業

- TOKIWAフードロス削減大作戦

【 全体講評 】

令和3年度水戸市協働事業の公募に対しては、7件の協働事業が提案され、3月3日にプレゼンテーションが実施された。

今回の募集に対しては、前年度からの継続が4事業あり、新規が3事業であった。新規の提案事業の中には、フードロスの削減や公園の新しい活用を進める事業などがあり、提案事業に変化が見られ、様々な主体が、公益的な活動に取り組み、社会全体で協働によるまちづくりを進めていこうという、意識の広がりを感じることができた。また、シニア世代の方々の協力を得ながら事業を実施していくことは、活動の幅をさらに広げていける可能性を秘めていると感じた。イベント開催による啓発については、大規模イベントを開催することも一つの選択肢だと思うが、小規模イベントを年度内に複数回開催することなど、継続的に啓発活動を実施いただくための手法を検討いただきたい。

提案のあった事業のうち、「親子で楽しむ森あそび 森っこ」については、協働事業提案制度を活用した協働事業としては、令和3年度が最終年度となることから、市の担当課とともに、長期的な展望を持って事業継続に向けた更なる内容の向上に取り組み、今後も他の協働事業の模範となっていきたい。また、新規事業については、事業初年度を迎えるにあたり、提案団体と市担当課とのコミュニケーションを密にし、事業目標や課題の共有に努め、連携・協力を図っていただきたい。

いずれの事業についても、事業の実施にあたっては、提案団体と市の担当課において十分に協議し、補助金の適正な運用及び予算の適正な執行を心掛け、より効率的で透明性のある事業運営に努めていただきたい。同時に、市民ニーズの把握に努め、適切に事業に反映させるなど、市民の目線に立った事業運営を進めてほしい。今後も、様々な分野において、市民活動団体と市が、お互いの特性を生かしながらパートナーとして事業に取り組むことで、相乗効果が生まれ、市民と行政とのまちづくりが更に発展していくことを期待したい。

各事業の概要及び委員会意見

提案事業名	介護助手養成 ちいすけ水戸	推薦する (280点)
提案団体 特定非営利活動法人ちいきの学校	市の担当課 介護保険課	
事業の概要	<p>介護職が専門職の高い業務に専念できるよう、アクティブシニア層を対象に、介護職の周辺業務（話し相手や軽作業等）を担う「介護助手」として育成，就労を促し，介護サービスの質の向上につなげる。また，アクティブシニアが社会参加することで，心身の健康維持を図り，「地域で支えるいきいき健康と安心長寿」の実現をサポートする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研修会の開催（5回） 2 介護事業所とマッチング作業など 	
委員会意見	<p>本事業は，提案団体と介護保険課が連携し，アクティブシニア層を対象に，介護職の周辺業務を担う「介護助手」を育成，就労を促すことでシニア層の健康づくり，介護人材の育成に取り組む本事業は，相互の取組を補完することができるものであり，協働による効果が高いものと考えられる。</p> <p>令和2年度事業を実施し，参加者67名のうち9名が介護助手として就労できたことは評価したい。2年目となる当事業の実施にあたっては，関係機関との連携をさらに図るとともに，就労希望者と事業者のマッチングを行う際には，就労に対する認識に差異が生じないように，就労希望者に対する継続的なサポートを心がけていただきたい。</p> <p>また，若者が介護職への理解を深め，介護人材の確保につなげるためにも，ぜひ学生との教育連携を図っていただきたい。</p> <p>本事業が，介護サービス向上と活力ある地域を実現する一助となることを期待する。</p>	

提案事業名	LD, HSC の子どもが育つ環境を整える事業	推薦する (277 点)
提案団体 じゃあまいいかねっと-市民活動ネットワーク	市の担当課 障害福祉課 総合教育研究所	
事業の概要	<p>LD (学習障害) や HSC (人一倍敏感な子) などの特性がある子は、周囲から誤解を受けやすく、適切な支援を受けられないことがある。この事業は、すべての子ども達の個性が尊重され、家庭や学校、社会の中で、その子らしく生きられる環境を整えるために実施する。また、LD の子どもは、日本語よりも英語の読み書きにつまずくことも多いため、令和3年度は英語学習支援にも取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 読み書きスクリーニング検査研修会 (1回) 2 指導者育成研修会 (4回連続) 3 研修の講師紹介一覧の配布 4 英語学習に苦手さがある児童・生徒への指導研修会・英語講座 5 学習に困難さがある子どもへの支援を学ぶ勉強会 6 保護者対象の情報交換会 (2回) 	
委員会意見	<p>LD (学習障害) や HSC (人一倍敏感な子) といった特性を持つ子どもに対しては、適切な支援が求められるが、それらの特性に関する知識や情報不足から、その存在が認知されにくいという現状にある。それらの特性を正しく理解することで、そのような子ども達に気づき、適切な支援を行うことができるよう、提案団体と障害福祉課、総合教育研究所が連携して取り組む本事業は、社会的課題を的確に捉えており、協働による効果も高いものと思われる。</p> <p>令和3年度の事業は、今年度の事業を踏まえた広がりを感じることができた。教員や保護者などを対象に、より専門性の高い研修を実施すること、さらには英語学習を苦手とする児童・生徒への支援をすることにより、これまで以上の効果が見込められると思われる。</p> <p>今後ますますニーズが高まるであろう本事業を継続して実施するためにも、再度収支計画の見直しをされたい。本事業が、全ての子ども達の個性が尊重され、家庭や学校、社会の中で、その子らしく生きられる環境づくりの一助となることを期待する。</p>	

提案事業名	親子で楽しむ森あそび 森っこ	推薦する (289点)
提案団体 森っこ	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>乳幼児とその保護者が森を含む身近な自然の中に気軽に集まることができるよう、「森っこ」活動を実施する。子どもたちは五感を使った成長をのびのびと育み、大人には心を開放し元気になってもらうとともに、様々な自然体験を通じ、身近な自然、草花、生き物を大切に思う豊かな心や自然と共生する小さな芽を育てていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「森っこ」活動 森の親子ヨガ，秘密基地づくり，ファミリーデー自然×子ども×和太鼓など年24回 2 事前に安全確認のための下見，内容の検討活動 3 安全講習会受講など 	
委員会意見	<p>本事業は、乳幼児とその保護者を対象に、「森っこ」活動を実施しており、身近な自然環境の中で自然体験をすることができる貴重な機会を提供している。新たな参加者が増えていることに加え、過去の参加者がママスタッフとして協力、また、シニアスタッフの協力も得られ、子ども達だけでなく、保護者また周囲の大人にとっても居心地のよい場所になっていると感じた。また、参加者の声から本事業のニーズの高さを強く感じた。</p> <p>令和3年度は、当日の様子を撮影し写真販売するといった新たな手法を取り入れるなど、これまで課題としてきた持続可能な運営のあり方を進め、自立の道を模索していることは評価できる。</p> <p>令和3年度の実施で最終年度となるが、常に新しい視点を持って事業に取り組む姿は、他の事業のお手本といえる。今後も長期的に事業を継続していくために、行政などとの連携を強めながら、さまざまな可能性を検討し事業を展開してほしい。</p> <p>本事業を通じ、森林公園をはじめとした身近な自然環境の中で、子どもを周囲の大人全員で見守る楽しい子育てが水戸市全体に広がっていくことを期待する。</p>	

提案事業名	キッズトレイルランニング大会	推薦する (228点)
提案団体 株式会社ナムチェバザール	市の担当課 農政課	
事業の概要	<p>貴重な地域資源である森林公園の自然環境をより身近なものとして、子どもたちの教育・健康増進に活用していくために、トレイルランニング大会を開催する。また、トレイルランニング大会の開催を通じ、公園設備だけでなく環境資源としての大きな魅力を子ども達へ伝え、地域資源としての魅力を広くアピールし、優れた環境を次世代へつないでいく礎を築いていく。</p> <p>1 キッズトレイルランニング大会の開催</p>	
委員会意見	<p>本事業は、森林公園の持つ豊かな自然環境を活用して、トレイルランニング大会を開催し、市民の教育・健康増進に寄与することに加え、地域資源としての魅力を広く発信することを目的としており、先見性や独創性については高く評価できる。しかしながら、事業計画や収支計画について、具体性に欠ける印象が残るため、事業の実施にあたっては、開催規模の再検討、効率的な事業運営を心掛けていただきたい。</p> <p>また、トレイルランニング大会の実施により、子どもたちへ森林教育をおこなう目的であるならば、コース整備を兼ねた清掃活動も同時期に実施することにより、森林教育の効果をより高められるのではないかとと思われる。実施にあたっては、不法投棄が多いエリアであることを踏まえ、安全面にも十分に配慮いただきたい。</p> <p>本事業をきっかけとし、森林公園という豊かな自然環境の魅力が再認識され、広く市民が親しむことができる場所となることを期待する。そして、本事業が、次世代を担う子ども達に対する環境教育の一助となることを期待する。</p>	

提案事業名	TOKIWA フードロス削減大作戦	推薦しない (208点)
提案団体 常磐大学地域連携センター	市の担当課 ごみ減量課	
事業の概要	<p>学生が取材者、発信者となり、フードロスの関心を高めるコンテンツを定期的に発信する。また、リデュースクッキングレシピを考案し、広報物を配布することで、市民一人一人の食品ロス削減の意識向上と実践を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食べきり運動協力店の取り組み内容の取材 2 食べきり運動協力店の加入促進 3 リデュースクッキングレシピ検討・試作 4 ファミリー層に向けたフリーペーパー発行（年2回） 5 HP, SNS を使用した定期的な情報発信 	
委員会意見	<p>本事業は、食品ロス削減の推進について、食品ロスの約半分は家庭から排出されていることに着眼し、市民一人一人の意識向上と実践を目指す提案であった。行政としても、さまざまな施策を検討、実施しているが苦慮しているようであるため、学生の若い視点から食品ロス削減の方策を探ることは意義深い。</p> <p>しかしながら、事業計画や収支計画について、具体性に欠けており、事業計画の再検討、効率的な事業運営を求めさせていただきたい。また、ファミリー層へターゲットを絞ったアプローチを実施するため、本事業ではリデュースクッキングレシピの折り込みをフリーペーパーへ特化し、啓発をおこなうとのことであったが、ポスティングによりどの程度の効果が表れるのか不安面が非常に大きい。ファミリー層へのアプローチ、フリーペーパーへの折り込みだけでなく、民間企業などとのスポンサー契約も検討する選択肢の一つに入れていただくなど、他のアプローチ方法も検討してもらいたい。</p> <p>本事業は審査の結果、残念ながら基準点を下回ってしまったが、今後ますます注目されていく分野に大学生が主体となって活動に加わることは非常に意義がある。今回の提案を第一歩とし、次年度はこの提案をさらにブラッシュアップして再度提案いただけることをお待ちしている。</p>	

提案事業名	市民参画による道路等パブリック空間の有効活用検討事業	推薦する (257点)
提案団体 特定非営利活動法人セカンドリーグ茨城	市の担当課 泉町周辺地区開発事務所	
事業の概要	<p>まちを体験するイベントやワークショップ等を通し、泉町のパブリック空間活用の方策等を、計画段階から市民協働により検討を進める。事業運営にも、市民の参画を促すことで、市民の地元に対する愛着を育み、持続的で魅力的なまちの形成につなげていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 みち遊び、ストリートパーティの開催 2 Farmers Market の開催 3 市民によるプロジェクトの立ち上げ 	
委員会意見	<p>本事業は、道路等パブリック空間の有効活用という行政課題に対し、まちを体験するイベントやワークショップ等を通じ、計画段階から市民協働による検討を進め、魅力的なまちを形成することを目的として提案された事業であった。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、思うように事業が展開できず苦慮されたかと思うが、来年度はコロナ禍においても実現可能性の高い屋外型の取組みを中心に実施し、行政課題の解決に向け、みち遊びをはじめとした様々な事業を展開し、幅広い世代のよりリアルな意見を取り入れながら、魅力的なまちづくりに取り組んでほしい。</p> <p>一方で、事業経費の大半が、それらの事業実施に必要とされる人件費、諸謝金に充てられていることから、事業実施にあたっては、効率的な事業運営のあり方について、改めて検討していただきたい。また、活動の肝となるファシリテーターの選定について、十分に検討いただき有効な活動としていただきたい。</p> <p>本事業をきっかけとし、泉町地区の道路等パブリック空間の有効活用が促進され、市民の意見が反映された魅力的なまちが形成されることを期待する。そして、本事業が市民参画によるまちづくりのモデル事業となることを期待する。</p>	

提案事業名	公園にハートいっぱいの種を蒔こう	推薦する (251点)
提案団体 特定非営利活動法人 Happy リレーいろいろ	市の担当課 公園緑地課	
事業の概要	<p>公園にて、高齢者向け健康体操の開催、子ども達とオセロや将棋などレクリエーションが行える場を設け、様々な年代の方が訪れるきっかけ作りを行う。また、公園に集まる高齢者と共に、フードバンク、おもちゃバンクの実施、低価格で提供するカフェの運営、公園で遊ぶ子どもの見守りなどの社会貢献活動を通して、公園から地域をつなぎ、多世代交流が図れる公園づくりを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 おもてなしとトレーニングができる公園 2 あったらしいなバンク 3 公園募金 café いろいろ 4 心と体のバランスクール 5 公園見守りこども食堂プラス 6 エコパートナー美化活動 	
委員会意見	<p>本事業は、平日の千波公園・少年の森を拠点として、公園から地域をつなぎ、多世代交流を図る公園づくりを目指す提案であった。これまでの活動実績についても、非常に評価できるが、さらに今回の事業提案であったような新しい視点での活動に今後期待したい。</p> <p>以前は公園に自然と子どもや地域で生活する人々が集まる環境があり、地域の輪を感じられていたと思うが、現在は地域コミュニティ力の低下、防犯意識の高まりなどもあり、人とのつながりが感じづらい時代へと変わってきたように思われる。本事業が主体となり、地域の高齢者を巻き込み、地域の大人が地域の子どものみんまで見守り、そして、なにか問題が生じたときには周りの大人が手助けをできるような、水戸の良さ、人の良さを感じられる温かい環境を作り上げ、さらに活動の幅を広げていってほしい。</p> <p>本事業をきっかけとし、地域の公園から地域のつながりを高め、魅力的なまちが形成されることを期待する。</p>	

選考過程・基準

【選考過程】

協働事業提案書をもとに、3月3日に実施されたプレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審査において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審査した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むに当たって、提案団体と市の担当課がさらに協議を深めるべき事項について意見した。

【選考基準】

提案書類とプレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点した。各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。

また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる216点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

なお、提案団体に所属する、または密接な関係にある委員がいる場合、公平性の観点から、当該提案の事業の審査は行わず、他の8名の委員による採点の平均点を加算して、得点を調整することとした。

審査項目及び審査の視点（40点満点）

審査項目	審査の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益，社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し，お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等	組織区分	備考
委員長 金本 節子	茨城大学名誉教授	学識経験者	出席
副委員長 大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・commons 事務局長	NPO代表	出席
笹瀬 佐代子	常磐短期大学 キャリア教養学科准教授	学識経験者	出席
谷萩 美智子	水戸市ボランティア連絡協議会 副会長	ボランティア 団体代表	出席
大竹 隆志	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	コミュニティ 団体代表	出席
鹿倉 よし江	水戸女性会議 副会長	女性団体代表	出席
石川 浩之	水戸商工会議所 事務局長	関係団体	欠席
浅川 宗典	水戸青年会議所 副理事長		出席
羽石 英司		公募市民	出席
大谷 一宏			出席